

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.90 (2023.9.27)

令和5年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
「顧客感動(CD)」から
「顧客ロイヤルティ(CL)」への挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄



ホリデー株式会社より掲載

台湾は面積が日本の九州よりやや小さい人口約 2,340 万人の島国です。首都は台北市で、新北市・桃園市・台中市・台南市・高雄市などの 5 つの直轄市で大都市圏を構成しています。産業としては半導体・パソコン・スマートフォンなどの IT 分野で世界の最先端を行き、台湾製品は世界シェアの多くを占めて、一人当たり実質 GDP は 2023 年現在では日本の 1.4 倍程度となっています。

7 月 12 日から 3 泊で、佐藤湯沢市長、佐藤観光物産協会会長と共に台湾に出張して参りました。目的は来年 2 月に台南市で開催されるランタンフェスティバルに絵灯ろうを展示して交流を深めることと、14 日から開催された 2023 台北国際夏季旅展にブース出展するためでした。このイベントは台湾最大級の観光博覧会で 500 ものブースが立ち並び、来客数は 30 万人以上

で 6,000 部以上準備した中国語のパンフレットがあつという間に無くなりました。アウターコロナで台湾の人たちの「旅行熱」の高まりを如実に感じる経験をして参りました。

私達が国内旅行を検討する際、南北に長い日本は北海道から沖縄までと広く、まだまだ訪れたことのない観光地は数多くあります。一方で左上の地図を眺めてみると台湾の人たちは国内旅行先がすぐに行き尽くしてしまうであろうことを容易に想像できます。つまり台湾の人たちにとって娯楽の王道である海外旅行は極めて身近であると言えます。

事実コロナ前は台湾からのインバウンド客は 500 万人に迫る勢いで、5 人に 1 人が来日していたという事になります。

台湾は深い親日感情を持つ国として知られ、訪日台湾人のうち 80% がピーターです。さらに 10 回以上の訪日経験を持つベテランピーターが 15% にのぼり、訪日回数とともに平均滞在日数も増える傾向にあります。仙台空港へ帰る機中で隣り合わせた台湾男性は家族親戚 8 人、7 泊 8 日で東北を旅行することでした。スマホを見せてもらおうと「中尊寺金色堂・ぴよんぴよん舎冷麺・道の駅アントラー・・・」などとありました。移動手段を聞いたところ「レンタカー 2 台」、どうやってホテルや旅館を予約したのかと聞くと「日本人の友達に頼んだ」という事でした。以上のことから、今後 SNS や現地でのイベントなどに参加して情報発信を積極的に実施すれば、インバウンドの恩恵が少なかった湯沢や県南地域にも大きなチャンスが生まれます。インバウンド増加は先月号のとおりに地域経済活性化に直結し、施設整備需要などで建設業界にも波及するのです。

健康づくり県民運動推進協議会

8/1 秋田県健康づくり県民運動推進協議会総会が秋田キャスルホテルにて開催され、「従業員は会社の財産」として健康経営への取り組みをプレゼンしました。大賞は逃しましたが優秀賞を頂くことができました。皆さん二

次検
診はお
済みで
すか？



ゆざわ七夕絵灯ろう祭り



際に購入してきた、台湾のランタンも飾りました。また違った雰囲気良かったです。

8/5～7 日に開催された祭りでは、秋田銀行歩道に 7 月に台湾に行った



山の日コンペ

第 8 回となる和賀組山の日コンペが 8 月 11 日に羽後カントリークラブで開催。これまでに最多の 47 名の参加でした。気温 35 度の猛暑の中、全員無事にホールアウト、優勝は岩崎こども園の外構工事でお世話になった丸臣高久建設の高

久社
長で
した。

